

錦町地区災害公営住宅の入居者を募集します

東日本大震災で住宅を失った被災者のうち、自力での住宅再建が困難な方を対象に、低廉な家賃で入居できる災害公営住宅の整備を市内各所で進めています。錦町地区災害公営住宅（共同住宅）の完成を前に、入居者の募集を行います。

入居募集説明会について

日時・場所 9月10日(水) ①15:00～ ②19:00～
 伊保石応急仮設住宅集会所
 9月11日(木)19:00～
 塩釜ガス体育館研修室
 9月12日(金)19:00～
 公民館2階大会議室(東玉川町)

棟	間取り	戸数		入居予定時期
		小計		
1号棟	2DK (14戸)	19	40	平成27年 3月下旬
	3LDK (5戸)			
2号棟	1DK (8戸)	12		平成26年 12月下旬
	2DK (4戸)			
3号棟	1DK (6戸)	9		
	2DK (3戸)			

入居募集について

対象 東日本大震災で住宅が全壊、大規模半壊または半壊で解体を余儀なくされた世帯

※ただし、世帯人数に応じて選択できる間取りに制限があります。

※錦町地区はペットとの入居はできません。

募集要項配布 錦町地区へ仮申し込みしている方は、直接郵送します。(9月上旬)

上記以外で入居を希望される方は、次の場所で配布します。

- ・市役所総合窓口 ・定住促進課（壱番館2階）
- ・ふれあいサポートセンター（伊保石応急仮設住宅内）

※来庁できない方には郵送します。定住促進課へご連絡ください。

申込受付 9月22日(月)～10月3日(金)

平日8:30～17:00（土・日、祝日を除く）

郵送受付 10月3日(金) 当日消印有効

申込窓口 〒985-0052 塩竈市本町1-1 壱番館2階 定住促進課

☎ 364-1126 FAX 362-7249

Mail kentiku@city.shiogama.miyagi.jp

詳しくは、市のホームページをご覧ください。



問 定住促進課 ☎364-1126

塩子
と
釜男
の
災害公営住宅
素朴な疑問？

塩竈市の災害公営住宅も2か所目が完成するのね。間取りもいろいろあるのかな。

世帯の人数に応じて、選べる間取りが変わるみたいだよ。事前に行った入居意向調査をもとに計画したんだって。

完成が待ち遠しいけど、入居する人たちは、また引越して、新しい環境に暮らすことになるわね。地域になじめるか不安に思っている人もいるんじゃないかしら？

住民同士コミュニケーションを図れるように、住宅と合わせて集会所も整備するんだって。

早く仲良く暮らせるようになるわね。住宅の家賃はどうなっているのかしら。

世帯の所得に応じて決められているよ。立地条件や住宅形式もいろいろあるけど、希望する人が多い場合はどうなるの？

入居資格がある人でも、自力再建する人もいるから事前の入居意向調査の結果を基に整備計画を作ったんだ。募集戸数を上回った場合は、抽選会などで決めるよっだよ。

仮設住宅などで暮らす人たちが一日も早く安心した生活を送れることが重要ね。

復興事業の進捗状況

そのほかの災害公営住宅

【清水沢地区】

9月からの造成工事に先立ち、2回目の住民説明会を予定しています。住宅建設工事は、これまでに着工した災害公営住宅と同様、UR都市機構に依頼しました(※)。清水沢地区では共同住宅タイプの住戸170戸を計画しています。

※ UR都市機構は災害公営住宅建設を行い、完成後に市に譲渡します。

【桂島地区・野々島地区】

造成工事を終え、建築工事を行っており、年度内の入居開始を目指しています。

【寒風沢地区・朴島地区】

寒風沢地区では防災集団移転団地を造成するため盛土工事を行い、地盤を落ち着かせてから建築工事に入ります。朴島地区では造成工事を行っています。

年度内の入居開始を目指しています。

【北浜地区】

北浜地区被災市街地復興土地区画整理事業区域内に整備するため、仮換地指定を行い、整備用地を準備しています。

【錦町東地区】

建設用地の取得に向け準備を進めています。



▲清水沢地区災害公営住宅整備予定地(旧太田球場)



▲住宅の基礎工事(桂島地区)



▲盛土工事中の災害公営住宅整備予定地(寒風沢地区)

問 復興推進課住宅基盤復興係 ☎364-1111内線(342)

下水道(雨水事業)

【中の島地区・港町二丁目地区】

震災により地盤沈下した港町・中の島・尾島町・新富町地区の浸水被害対策として、中の島公園を中心に貯留管やポンプ場などの新設工事を行っています。

現在、ポンプ場を建設するための掘削工事や雨水貯留管のトンネルを掘るための縦穴を作っています。



▲整備工事中の中の島公園

問 下水道課 ☎364-2193

復興ニュース



▲ステージ上で、「元気ッス!へきなん」市民会議のメンバー(写真右から2番目)に、パネルを贈呈

問 観光交流課

☎364-11165

震災以降、職員派遣などさまざまな支援をいただき、交流を深めている愛知県碧南市。「感謝」を笑顔で届けよう

「元気ッス!へきなん」に参加

「塩竈みなと祭」には、碧南市の有志が、「俺、元気ッス!」、「あたし、元気ッス」のオリジナルTシャツを着て、パレードに参加してくれました。

市では、これまでの感謝の気持ちを届けるため、市民のみなさんから碧南市への感謝のメッセージと笑顔の写真を募集し、7月26日に開催された碧南市民まつり「元気ッス!へきなん」の会場で、メッセージと笑顔の写真を貼ったパネルを贈呈しました。

震災を機に、さまざまな形で交流の「輪」が広がっています。